



自治労音協通信

第76号
2012年8月17日発行

発行責任者 会長 磯野 友一
編集責任者 事務局次長 小川 典子

第45回はたらくものの音楽祭IN小山！ うたを抱きしめる、いのちを抱きしめる 大成功！ 2013年は10月5～6日 滋賀県大津市

第45回 はたらくものの音楽祭
2012年6月9日(土) 2012年6月10日(日)
13:00～18:00 10:00～13:00

会場：小山市立文化センター小ホール
（小山市職労）が県内から参加。

「うたを抱きしめる いのちを抱きしめる」

★音楽祭栃木の演奏
栃木県内からは初日にDaddy Papa
(佐野市職労)、もう・たくさん

日本音楽協会は、第45回はたらくものの音楽祭を、6月9日(土)午後1時30分から10日(日)栃木県小山市立文化センター小ホールで全国から500人を結集して開催した。実行委員長の飯島貞親(日音協会)は「歌を抱きしめる 命を抱きしめる」をテーマに栃木で初めての開催となった。日常の活動を音楽で交流しようといふさつした。

(栃木市職労)、二日目のオープニングで小山市おはやし振興クラブ(小山市職労)が県内から参加。Daddy Papaは「癒しの歌で喜び作り」にぴったりのサウンドを奏で、DaddyさんとPapaさん以外に応援でベースとコーラスが参加した。もう・たくさんは、「蘇州夜曲」「川の流れるように」を二胡で演奏。二胡独特のゆったりとした音を奏で聴衆を魅了した。

左：ポスターデザインは鳴澤好恵さん



昨年のゲスト真紅

★音楽祭第1日目は、「真紅」大きく成長した娘たちのハーモニーが、リスナーを感動させた。演奏曲は「蕾」と「Blue Ship」曲狭石陽一を演奏した。



ゆかた姿で榎原隆子さん

ブービーバンド(札幌市職)はメインボーカルの榎原さんが浴衣姿で「しりとりに演歌2012」を艶やかに歌った。



左：ピアノ高野直美さん
右：山本英二さん

新潟県支部は、山本(ギター)、高野(ピアノ)、山田(アコ)でそれぞれのソロ演奏を組み込んだアレンジで「とめられた時計」(詩||狭石啓子)を演奏した。なお、日音協ソングに山本さんの「いつだって」が入選し表彰された。



山田由紀子さん

♪ 事務局から のお知らせ

みなさまからの投稿をお待ちしています！

E-Mail: jicogawa@jca.apc.org 住所変更は必ずお知らせください！

『自治労音協ホームページ』 <http://www.jca.apc.org/~jicogawa>

『自治労と音楽のページ』 <http://www33.ocn.ne.jp/~tmatsu>

『日本音楽協会』 <http://www.yomogi.or.jp/~uncle>

音楽祭2日目の出演・音協は合唱曲

★音楽祭2日目

オープニングの小山市職のお囃子のあと、メーデー合唱団が印牧真一郎さんの指揮で2曲を発表した。



指揮は印牧真一郎さん



左から古谷さんと西藤さん

自治労滋賀県支部の西藤安彦さんと古谷昌代さんは「未来への架け橋〜淡路からの風」自治労滋賀県本部テーマソングを発表した。

★音楽祭自治労音協発表

今年は「星めぐりの歌」(詩・曲 宮沢賢治、編曲 林光)を総勢30人で合唱した。伴奏は高野直美さん(新潟)、指揮は細川剛副会長。



第4回(通算25回) 自治労音協コンサート

6月8日(金)、音楽祭会場に全国から10組出演

沖縄から『小一バンド』平良昭一さん ゲスト出演



あいさつする磯野会長

6月8日午後7時から、全国から結集した50人は、シンガウトで懐かしい曲「ふるさと」、「大地のメロデー」をみんなで元氣よく歌った。古谷昌代さんの司会進行で、はじめに主催者を代表して磯野会長が「日頃の成果を出し合うコンサートにしよう」とあいさつ。

続いて栃木県本部岩本治美中央執行委員長より「明日からの音楽祭前段、自治労の仲間の音楽交流の場を有意義に過ごそう」とあいさつ。

会場には、日音協のなまや、自治労栃木県本部からも駆けつけ、10県本部から10グループが出演した。

なお当日の音響等の準備で、連合栃木の森下さん、茨城県本部の菊池さん、桃井さん、

照明の常盤さんのがんばりで、良い環境での演奏が出来たことを出演者全員で感謝しています。



懐かしい曲でシンガウト

●吉川 勝(新潟県三条市職労)

ジャズシンテイーこと吉川さんは、出来立てのオリジナル曲を演奏。昨年の大震災での被災者支援活動で感じたことを歌う。



三条市から駆けつけた吉川勝さん

●山本英二(新潟)

昨年に引き続きクラシックギターの演奏で「キューバの子守唄」「エストレリータ」の2曲を披露した。



演奏中の山本英二さん

●ONE PEACE

(東京)狭石啓子+利美「むらさきつゆくさの歌」「望郷」「明日という日」の3曲を演奏。利美さんもソロでテナーの響きを聞かせた。



左から狭石啓子さん、利美さん

第4回自治労音協コンサート

●くれっしえんど

坂口美日(東京)、高野直美(新潟)、原佐由理(長野)さんのユニット

松本敏之さんのピアノ伴奏で「世界の子どもたち」「レッツシンガーソング」歌った。



左から高野直美さん、坂口美日さん

●小川典子(東京)

「風の声」作詞大島小川、曲松本敏之、「Sound of Windo」作詞・曲 小川典子の2曲を松本さんのギター伴奏で歌う。



左は伴奏の松本さんと小川典子さん

●音協ジャム

松本敏之・鳴澤庸夫(栃木)・高田義徳・三好康雄(香川)別々に事前練習を行った2組のグループのジャム演奏でした。



左から松本さん、鳴澤さん、高田さん、三好さん

●WEED

ギター 菊池正彦(アナログおやじ)メインボーカル 鬼澤佐智子(姫)サイドギター 山本親広(山さま)パーカッション 久保田栄一(ギゴン)ベース 岩浪啓一(きんぞー)

演奏曲「君らしく」(詩・曲 岩波啓一)はWEEDのオリジナル。*通信に楽譜掲載、自治労茨城牛久町職の菊池さんと自治体で働くメンバー、県本部書記にボーカルの鬼沢さん(民間)をメンバーに活動している。



左から菊池さん、鬼沢さん久保田、山本さん、岩波さん(2010音楽祭)

●沖縄小一バンド

平良彰一・山城文雄、嘉数正光(沖縄那覇市職労)山城、嘉数は、平良昭一さんを中心にした「小一バンド」の活動をしている。「日本まだ捨てたもんじゃない」「奇跡の絆」(詩・曲 平良彰一)を語るように歌った。



左から山城さん、平良さん、嘉数さん

CDの紹介

スポットライト出演者

あべこう一(アベ コウイチ)さん

1976年1月、山口県生まれ。90年より作詞・作曲を始める。バンドのヴォーカリストなどを経て、現在はソロとしてライブ活動を行う。

「歌は3分間のドラマ」をモットーに、毎日食べるパンを焼く気持ちで歌をつくる。今年3月にはアルバム「東京実験」を発売。ラジオパーソナリティーとしての顔も持ち、ネットラジオ局「アワプラジオ」を主宰。

NGO「フォーラム平和・人権・環境」スタッフとして、市民運動にも取り組む。趣味は書店めぐりと読書。

<http://ameblo.jp/kohichi-abe>



アルバム「東京実験」が3月18日に発売となりました。ライブ会場やラジオの公開オンエア収録、イベント会場などで販売しています。Amazon.comからも購入いただけます。

東京実験 / あべこう一 2012.03.18 定価:2,000円 AWA-001

1. いろいろカフェー 2. 悲しくもおだやかな世界 3. Change 4. イニシャル 5. 無題ドキュメント 6. 風のドラマ 7. 雷の下で雨粒に撃たれ

■詳細や購入はこちらから

<http://ameblo.jp/kohichi-abe/entry-11127918999.html>

私のギター人生

ギターに魅せられて

パート14

狭石 利美(東京OB)

◆一体何があったんですか

先月父親の通院に付き添った日の帰り、秋葉原駅中央口で降りて乗り換えようと歩きだしたら、心地よいフルクローレが響いてきた。ボリビア人(もしかするとペルー?)らしき男四人組が道路よりの歩道の端でCDを売りながら演奏していた。ケーナ、チャランゴ、ギター、パーカッションをそれぞれが演奏し、パーカッション奏者以外の三人で歌っていた。楽器も歌もなかなかの腕前である。5、6人の人が足を止めて聴いていた。私も時間はあったので、しばらく聴いていくことにした。二曲目の途中で突然二人の警官が近づいてきた。演奏はストップさせられ、四人は口々に文句らしき物言いですつさと楽器やCDを片付け始めた。いい演奏が突然ストップさせられ、残念に思った私は近づいて行って警官に聞いた。

「一体何があったんですか」

「110番の通報があったんです」

「どこからあったの」

「それはわかりません」

そんなやりとりをしている間も、四人組は口々に私にもなにか訴えようと喋っているのだが、あまりの早口

に何を言っているのかさっぱり分からない。私は警官に言った。

「ここは歩道だから道路交通法は関係ないはずだが」

「道交法は関係ありません」

「歩行者の迷惑にもなっていない。どこかこのへんの店が騒音苦情で通報したのか。誰にも迷惑をかけなければ、表現の自由は守られるべきだ」そのうちに説明の内容が変わってきた。

「実はあの秋葉原の無差別殺傷事件のあと、万世橋警察署がこの辺ではこういうことは禁止しているんです。ほかの場所では出来るところはあるので、そういうところでやってもいいのです」

あの事件はこんなところにまで影響を及ぼしていたのかと、なぜか釈然としないうままその場をあとにした。二十代後半から三十代らしき、まだ若いお巡りさんだったので「お勤めご苦労様」と挨拶して。

◆共有できた無念の想い

なぜ見過ごせなかったのか。実は5月の末に上野公園の入口で日音協有志四人で脱原発一千万人署名を取

り組んでいた。私がギターを弾きながら「望郷」を歌っていた時、突然二人の警備員が近づいてきた。「まいったな、せめて歌の途中で止めるなよ」と思いながら最後の山に差し掛かっていた。二人は数秒私の前に立って躊躇している様子だったが突然、「やめてください」と来た。

「許可をとっているんですか」

「ここは歩道の上だ。歩行者にはもちろん、誰にも迷惑はかけていない。あなたたちは？」

「公園管理事務所から委託されている警備会社のもんです」

「公園の敷地内でやっているわけじゃない。歩道でやっている。公園の管理事務所が歩道の上までとやかく言うのは不当な規制だ」

「とにかくもっと向こうの、駅の方でやってください」

「そんなことしたらそれこそ駅から乗降客に迷惑だからやめると言われる」

「大道芸人の人たちもみんな許可を取っているんですよ」

実際にはほんの少しだけ公園敷地内に入っていたので、そこからさつさと出て完全に歩道の上に立ち、彼らに抵抗した。実はその日、私と啓子さんは午後から別の予定があって午前中しかできず、午後からは別の人が二人加わってやることになっていた。ここで私が引き下がってやめてしまうと、午後から駆けつけるメンバーができなくなってしまう。

そうなるのは申し訳ない、という気持ちが強くて頑張って頑張ったのだ。啓子さんが「もういいからあつちでやろう」と、駅よりの歩道の端に移動してそれから歌い続けた。

脱原発という目的をもって道行く人に訴えながら歌っている、まさにその最中で突然歌うことを中止させられるというのは、思った以上に腹が立つものだということがよく分かった。ピクトル・ハラの気持ちも少しだけわかったような気がした。こればかりは経験してみないとわからないと思った。

この経験があったからこそ、秋葉原駅での事態を見過ごすことはできなかったのだ。途中で無理やり演奏を妨げられる悔しさ、無念さを彼らと共有できたから。

また地元で毎月一回「江東憲法日曜塾」を七年以上も続けている。そんな積み重ねがあって、憲法でも保障されている表現の自由を奪う不当な規制は許せないという想いが自然に育まれていたのかもしれない。

(その後7月7日にも同じように行動したが、署名集めやチラシ配りは敷地内に入っても、演奏だけは歩道上でやるようにしているが何も文句は言っていない。ついでに付記すると、この日の行動は坂口美日、田中淑子、松本敏之、森理子、私たちツーピースの六人だったが、午前中だけでその場を失礼した私が後で聞いた話では、残った四人は夕方まで敢行して集めた署名数はなんと248筆だったそうである)

CD発売中

真紅 & せなとしゅほ



私たちのCDができました。4人の平均年齢
19がタイトルです！ 1800円です！

地方発送承ります。

注文先: 坂口珠萌

[自宅] 〒178-0063 東京都練馬区東大泉7-50-42・402

[PCメール] p.mikann@nifty.com

[携帯] 090・7945・6400

[携帯メール] di.mikann@docomo.ne.jp

【収録曲】

- 1、手紙 詩/曲=アンジェラアキ
- 2、鳥は空を求めている 詩=漬口園雄 曲=高橋悠浩
- 3、はじめのことば 詩=さねとうあきら 曲=萩京子
- 4、ひとりじゃないよ 詩=堀内規美恵 曲=山口真
- 5、蕾 詩/曲=小淵健太郎
- 6、そのまま 詩/曲=山崎浩
- 7、うた 詩=佐藤信 曲=林光
- 8、blueship 詩=斎藤秀太 曲=狭石陽一
- 9、blueship カラオケver.

第20回自治労音協総会を開催

2013年音楽祭は滋賀県大津市で開催

全力で自治労音協滋賀県支部を支えよう！

6月8日コンサート終了後、交流会会場の「だるま」で自治労都府本県本部の皆さんと交流会終了後、簡単に総会を開催した。2013年度は、10月に開催される音楽祭に合わせて、前段の金曜日に第5回(通算26回)自治労コンサートを開催する予定です。

来年は滋賀県大津市で、第46回はたらくものの音楽祭が開催されます。自治労音協滋賀県支部と日音協近畿支部が、開催地として多くの任務を担います。自治労音協協議会も全力でサポートしていきます。

■2012年度活動方針

2012年度活動方針(2012年6月9日・2013年10月)

1. 自治労音楽協議会の組織を確立します。

(1)自治労の組合員で音楽活動をしている人々に、音協加入を積極的に呼びかけます。

(2)各県、地連ごとの会員、サークル間の連絡をつくりだすとともに、できるところから県支部を結成します。

(3)幹事会を開催します。

(4)次期総会は、第46回はたらくものの音楽祭(2013年10月5・6日、滋賀県大津市開催)と同時期に開催します。

(5)自治労との組織的な関係の確立を引き続きめざします。

(6)サークル活動の活性化をめざします。このために第5回自治労音協コンサートを10月4日に開催します。

2 自治労の音楽・文化事業に協力します。

自治労の音楽・文化事業は次のようなものが計画されています。これらに積極的に協力し、会員の参加を呼びかけます。また、さらに音楽・文化事業を拡大するようはたらきかけます。

(1)青年女性地連別交流集会／文化班

(2)労働学校での歌唱指導など

3 日音協の活動および事業に協力します。

(1)日音協会員加入 年会費1万円 また、日音協会員で地域支部に所属できない人たちで構成する、日音協自治労音協支部を結成します。

(2)日音協セミナー

(3)ブロック別日音協合宿

(4)第46回はたらくものの音楽祭(2013年)

(5)機関紙『音楽運動』のネット会員の拡大

4 各地域で独自のコンサートなどを追求します。

当面、滋賀県支部などで開催しているコンサートや、県支部の結成を目指すとともに、サークルまたは県単位で自治労音協会員合同のコンサートなどをめざします。

5 自治労音協仲間の歌を作成し、会員に配布します。

■交流会で盛り上がる

交流会には、自治労栃木県本部岩本委員長や執行部、青年部役員が参加して、大いに盛り上がりました。

♪Yes I do

京都市東山区祇園縄手通末吉町東入
いみねビル4F

TEL 075-531-5737 H・P 090-2040-2074

日音協近畿の井戸久喜さんが ライブパブを始めました。京都にお立ち寄りの際にはお越しください。

⑥ いっだって

作詞・作曲 山本英二

1. あめの やんだ さかみち を ほくは ひとりの ほって

く さっきまで さして いた かさを くるりとまわして

みたよ みどり いろに そまってる かせの なかを ほじけて

2. きのう までの かなしみと あしたの よろこび

く しずくたち きらきらく いきていく ほくの ころににじがか

を だきしめて B $\flat$ それが C $\flat$ ひとを おおきく

かるよ なんの ために うまれで きたの すぐに は みつからないけれど

る なんの ために であって いるの ひとはじ C $\flat$ ぶんでいしきもせず

じぶん なりの こたえを さがす ために こ れからは いきてい

ひとと ひとが ふれあう F/E ことが あしたま F/D たいきののそみに

こう¹いた²いよう は いっだって ほくらの うえを てらして

なる G $\flat$ C $\flat$

しあわせ は いっだって ほくらと ともに あるいてい

F

る D/C

⑦ 君らしく

岩浪啓一

D B $\flat$ Em D

くさのうえねころぶとー ちくりとせながが いた い

D B $\flat$ Em A $\flat$ D

みあげるそらなが れるくも あしたへとむかう

B $\flat$ F $\sharp$ m B $\flat$

たとえ ば きみが つまずき ころんだ とき

A $\flat$ B $\flat$ F $\sharp$ m Em

は ちカラを あわせて たち あがろ

A A $\flat$ D

う ひと り では ー なやまな

B $\flat$ D

い でー いっ ぽ ずっー まえをむ

B $\flat$ Em A $\flat$ D

い てー ゆっ くりと あるいて ゆこうよー